



## 立教英国学院

### プライバシーに関する通知

このポリシーは学校全体に適用されます

このポリシーは、スタッフシェアを通じて学校スタッフが利用できます

私たちは、学校全体で取り組む「セーフガーディング（児童保護）」の方針を掲げており、これは学校のあらゆる活動や取り組みに通じる重要な柱となっています。すべての学校方針は、このセーフガーディングの考え方を支えるものです。そして、私たちが何よりも大切にしているのは、子どもたちが心身ともに健やかに、安心して過ごせる環境を整えることです。

範囲: 本校で働くすべての職員、ボランティア、サービス提供者は、通常の授業時間内外を問わず、校外での活動も含めて、この方針とその手続きについて理解し、実践する責任を平等に負っています。

新たに採用された職員およびボランティアは、この方針と関連する手続き文書を読んで理解し、遵守することを誓約し、「ポリシー登録簿」に署名することでこれを確認する必要があります。

法的地位: 現在施行されている教育（独立学校基準）（イングランド）規則および寄宿学校の国家最低基準（NMS）に準拠しています。

監視と見直し: このポリシーは、立教英国学院のニーズに合わせて必要かつ適切に作成されています。生徒に関わるスタッフを支援し、学校スタッフやボランティア、経営者、理事会の責任を明確にしています。これらの取り決めは校長によって継続的に監督・見直し・監査されており、理事会もこの文書とその実施状況、関連業務の効率性について毎年総合的な見直しを行い、結果を公式に文書化します。手続きや運用において問題や不備が見つかった場合は、速やかに改善されます。全スタッフには、更新・見直し後の内容が文書または電子的に通知されます。

署名: 合意されたポリシー: 2024 年 9 月  
公開日: 2025 年 9 月  
次のレビュー: 2026 年 9 月

岡野透  
Dr T Okano  
校長

J・N・プラッテン  
Mr J N Pratten  
議長

#### 私たちについて:

私たちは、イギリスにある立教英国学院で、慈善信託として運営されています。私たちの慈善登録番号は 306987 で、登録事務所は立教英国学院、Guildford Road、Rudgwick、West Sussex RH12 3BE に所在します。

#### このプライバシーに関する通知の目的:

このプライバシーに関する通知は、学校がどのように個人データを収集、使用、保持（または「処理」）するかについて、現在、過去、および将来の生徒とその保護者、または後见人（このポリシーでは「保護者」と呼びます）に情報を提供することを目的としています。

立教英国学院は、子どもや若者の生活の質を守り、促進することに尽力しており、すべてのスタッフとボランティアがこのコミットメントを共有することを期待しています。私たちの目標は、すべての生徒がその可能性を最大限に発揮することです。

これにより、学校はあなたの個人情報のデータ管理者となり、この情報はデータ保護法により、個人が自分のデータがどのように処理されるかを理解する権利を持つために提供されます。このプライバシーに関する通知は、私たちがその情報をどのように使用するか、そして私たちが保持しているデータに関してあなたの権利が何であることを示しています。

このプライバシーに関する通知は、オンラインまたは紙のフォームを介してデータを収集する際など、特定の個人データの使用に関して学校が提供する他の情報と併せて適用されます。

このプライバシーに関する通知は、学校の他の関連する利用規約およびポリシーに加えて適用されます。これには以下が含まれます：

- 学校と生徒の保護者との間の契約
- 子どもの画像の撮影、保存、および使用に関する学校のポリシー
- 学校の CCTV および/またはバイオメトリクスポリシー
- 学校の記録保持ポリシー
- 学校の保護、福祉、または健康と安全に関するポリシー（懸念や事件の記録方法を含む）
- 学校の IT ポリシー（利用規約、ソーシャルメディアポリシー、オンラインセーフティポリシー、メールポリシー、WiFi ポリシー、リモートワーキングポリシー、および個人デバイス持ち込み（BYOD）ポリシーを含む）

### データ保護に関する責任

学校は、事務長（バーサー）をデータ保護責任者(PDO)に任命し、学校があなたの個人データを処理する際に生じる要望や問い合わせに対応し(下記「あなたの権利」のセクションを参照)、このポリシーおよびデータ保護法に準拠してすべての個人データが処理されるよう努めます。事務長(バーサー)への連絡は、以下のメールアドレスを利用して下さい。  
bursar@rikkyo.co.uk。

### 学校が個人データを処理する必要がある理由

学校は、スタッフ、生徒、保護者に対する義務を果たすために、日常業務の一環として、学校のコミュニティに関する広範な個人データを処理する必要があります。

このうちの一部は、学校が法的権利、義務、または契約上の義務を履行するために行う必要があります。これには、スタッフとの契約に基づくものや、生徒の保護者との契約に基づくものが含まれます。

その他の個人データの使用は、学校の正当な利益、または他の正当な利益に基づいて行われます。ただし、これらが個人に与える影響を上回らない場合に限り、また、特別な種類または機密性の高いデータを含まない場合に限ります。

- 学校は、以下の使用が学校（または学校のコミュニティ）の「正当な利益」のカテゴリーに該当すると予想しています：生徒選考のため、入学希望者とその保護者の身元確認、および将来の応募や募集のための記録の保持（適切な場合）。
- クレジット、身元および資金源のチェックを行うため。これには、以前の学校や第三者のサービスプロバイダーを通じて、保護者が制裁の対象でないことを確認するためのチェックが含まれます。
- 教育サービス（音楽教育、体育、精神的発展、キャリアサービス、課外活動を含む）を提供し、生徒の進捗や教育ニーズを監視するため。これには、サービスが一時的または恒久的にリモートで提供される場合も含まれます。
- 定期的な報告や保護者会を通じて、保護者に子どもの進捗、福祉、発展について報告し、連絡を取るため。
- 生徒や保護者のために会議、イベント、社会的交流を企画・管理するため。

**立教英国学院は、子どもや若者の生活の質を守り、促進することに尽力しており、すべてのスタッフとボランティアがこのコミットメントを共有することを期待しています。私たちの目標は、すべての生徒がその可能性を最大限に発揮することです。**

- 直接マーケティングや資金調達活動を通じて、卒業生や学校コミュニティとの関係を維持するため。
- 寄付者のデューデリジェンスを行い、寄付希望者の身元や背景、関連する関心を確認するため。
- 管理計画や予測、研究、統計分析のため。これには、法律で定められたもの（税金、ダイバーシティ、ジェンダー賃金格差分析など）も含まれます。
- 関連当局が学校のパフォーマンスを監視し、適切な場合に介入または支援することを可能にするため。
- 過去および現在の生徒に関する情報や推薦状を提供し(未払いの料金や支払い履歴に関する情報を含む)、在籍した教育機関や在籍予定である教育機関に提供するため。また、過去の生徒の潜在的な雇用主に推薦状を提供するため。
- 生徒が全国的なまたはその他の評価に参加できるようにし、学校の生徒の公的試験やその他の成果を公表するため。
- 生徒の健康と福祉を守り、適切な生徒指導を行うこと。これには、政府の「教育における子どもの安全確保に関するガイドライン(KCSIE)」の要件と推奨事項に従うことも含まれます。
- 学校の IT および通信システムの利用状況を、学校の「適切な利用ポリシー」に従って監視するため。
- 学校の出版物、学校のウェブサイト、および（適切な場合）学校のソーシャルメディアチャンネルで、生徒の写真を使用するため。これには、学校の「子どもの画像の撮影、保存、使用に関するポリシー」に従うことも含まれます。
- セキュリティ目的のため。これには、「学校の CCTV ポリシー」に従った生体認証や CCTV も含まれます。
- 犯罪の予防および検出のため。また、警察やその他の権限を有する機関が行う調査（犯罪調査を含む）を支援するため。
- 雇用主および/またはビザスポンサーとして、移民要件に関する規制記録保持/コンプライアンスの目的のため。
- 学校または外部の苦情、懲戒、調査プロセスを実施または協力するため。
- 将来の保護者や生徒に学校を宣伝するため。
- その他、学校の目的のために合理的に必要な場合。これには、適切な専門的アドバイスや学校の保険を取得することも含まれます。

さらに、学校は時折、特別カテゴリーの個人データ（健康、民族、宗教、生体認証、性的生活に関するデータ）や犯罪記録を処理する必要がある場合があります。これは、法的権利や義務に従って、または必要に応じて明示的な同意を得て行われます。これらの理由には以下が含まれます。

- 生徒の福祉を守り、適切なパストラル（必要に応じて医療）ケアを提供し、緊急事態、事故、または事故が発生した場合に適切な行動を取るため。これには、生徒/個人の健康/医療状態やその他の関連情報の詳細を開示することが含まれます。例えば、緊急医療のため、生徒の健康状態や医療条件、特別な教育ニーズの評価と診断を手配するため、社会的保護、安全確保、警察や社会福祉機関との協力、保険目的、または修学旅行の主催者やケータリング業者が食事や医療ニーズを把握するために必要です。
- 公衆衛生要件に従うため。
- 生徒の障がいや特別な教育ニーズに対して合理的な調整を行う文脈で教育サービスを提供するため。
- 宗教的信念の文脈で精神教育を提供するため。
- セキュリティやその他の生徒識別のために生体認証データを使用するシステムを運営するため。
- 学校内や外部からの苦情、懲戒、調査プロセスの一環として、例えば特別教育ニーズおよび障がい法(SEND)、健康、保護に関する要素が含まれる場合。

**立教英国学院は、子どもや若者の生活の質を守り、促進することに尽力しており、すべてのスタッフとボランティアがこのコミットメントを共有することを期待しています。私たちの目標は、すべての生徒がその可能性を最大限に発揮することです。**

- 法的および規制目的（例えば、児童保護、多様性モニタリング、健康と安全、移民/ビザスポンサーシップコンプライアンス）および法的義務とケアの義務を遵守するため。

## 学校が処理する個人データの種類

これには、以下の例が含まれます：

- 名前、住所、電話番号、メールアドレス、その他の連絡先情報
- 車両情報（学校の駐車場を利用する人について）
- 生体認証情報（学校のバイオメトリクスポリシーに従って収集および使用されます）
- 銀行口座情報およびその他の財務情報（学校のバイオメトリクスポリシーに従って収集および使用されます）
- 過去、現在、および将来の生徒の学業、懲戒、入学、保護、および出席記録、試験の答案および成績
- 国籍およびその他の移民ステータス情報（例：英国での居住および就労/就学の権利）、パスポート情報のコピーを含む
- 生徒の健康および医療状態、特別な教育ニーズ、家族の状況/生活環境に関する情報
- 近親者の連絡先情報
- 学校が生徒について提供または受け取った推薦状、および以前の教育機関や生徒と協力している他の専門家または組織から提供された関連情報
- 生徒および保護者（過去および現在）との通信
- 学校の活動に参加している生徒（および場合によっては他の個人）の画像、および学校の CCTV システムによって撮影された画像（学校の「子どもの画像の撮影、保存、使用に関するポリシー」に従って）

## 学校によるデータの収集方法

学校がデータを収集する方法 一般的に、学校は個人から直接個人データを受け取ります（生徒の場合は保護者を含む）。これはフォームを介して、または通常のやり取りやコミュニケーション（例えば、メールや書面による評価）を通じて行われることがあります。

しかし、場合によっては、個人データが第三者（例えば、他の学校、他の専門家や当局、または保護者の信用と身元を確認する第三者のサービスプロバイダー）から提供されることもあります。また、公開されているリソースから収集されることもあります。

## 個人データにアクセスできる人と、学校が個人データを共有する相手

第三者による処理 学校が収集した個人データの大部分は学校内に留まり、必要に応じてアクセスプロトコル（つまり「知る必要がある」ベース）に従って適切な個人によって処理されます。ただし、会計、IT、クラウドストレージ/記録管理、監視、郵送などの一部の機能は外部委託されています。データ保護法に従い、この種の外部データ処理は常に契約上の保証の対象となり、個人データは安全に保管され、学校の特定の指示に従ってのみ使用されます。

**データ共有** 時折、学校（日本の理事、英国のガバナー、および日英執行部を含む）は、生徒や保護者に関する個人情報を第三者と共有する必要があります。例えば：

- 訪問音楽教師などの適切な契約者
- 専門アドバイザー（例：弁護士、保険会社、PR アドバイザー、会計士）
- 試験委員会

**立教英国学院は、子どもや若者の生活の質を守り、促進することに尽力しており、すべてのスタッフとボランティアがこのコミットメントを共有することを期待しています。私たちの目標は、すべての生徒がその可能性を最大限に発揮することです。**

- 第 3 段階の苦情処理委員会（独立したパネルメンバーを含む場合があります、苦情が提起された場合に関する学校の苦情手続きに従って）
- 学校の可能性のあるまたは実際の売却、合併、その他の再編成の場合の第三者およびそのアドバイザー
- 政府当局（例：歳入関税庁(HMRC)、教育省(DfE)、児童家庭裁判所諮問支援サービス(CAFCASS)、警察、内務省、関連する公衆衛生/NHS 機関、地方自治体、適切な規制当局（例：教育規制機関、独立学校検査機関、慈善委員会など）
- 保護者であり PTA のメンバーである場合、学校は PTA の会長に連絡先情報をメールで共有することがあります。PTA は独立したデータ管理者であり、学校は PTA の個人データ処理に責任を負いません。
- 卒業生に関するデータは、日本と英国の両方で保持され、それぞれの国のプライバシー法の対象となります。

## 機密データへのアクセスと共有

特に厳格なアクセスルールが適用されるのは、「特別カテゴリー」のデータに関してです。特に以下のデータが該当します：

- 健康および医療/特別なニーズの記録
- パストラルまたはセーフガーディングファイル

**医療/健康データ** 学校は、法的義務を遵守し、生徒や他の人々の安全を確保するために、この情報を処理する必要がありますが、学校は必要に応じて権限を与えられた職員のみが情報にアクセスできるように配慮します。修学旅行やケータリングの目的で必要な場合には、より広範に情報を提供することがあります。必要な場合には明示的な同意を求めます。ただし、生徒に必要なケアや教育を提供する観点から、関連情報の一部は、より広範な職員に提供する必要があります。

**セーフガーディングデータ** 学校は、法律および法定ガイダンス（「教育における子どもの安全を守る」または(KCSIE)」を含む）により、発生したり報告されたりした事件や懸念事項を記録または報告する義務があります。場合によっては、その性質や頻度が一定の深刻さの基準を満たす場合、立証の有無に関わらず記録または報告する必要があります。これには、人事ファイルやセーフガーディングファイルに関するメモ、成人に関する軽微な懸念記録（生徒や家族に関する言及を含む場合があります）、および LADO、児童福祉サービス、児童青少年メンタルヘルスサービス(CAMHS)、警察などの関連当局への照会が含まれる可能性があります。

KCSIE（教育における子どもの安全を守る）では、生徒が他の学校や大学に入学する際に、その生徒の保護ファイルを新しい組織に迅速に提供することを求めています。また、学校の指定されたセーフガーディングリードが、生徒の継続的なケアニーズに重要と考えるその他の情報も提供されます。必要に応じて、学校はこれらのニーズへの最適な対応について保護者と相談しますが、最終的には新しい学校や大学と共有する情報の決定は学校に委ねられます。学校は、セーフガーディングに関連する資料の保持ポリシーに従って、保護ファイルのコピーを保持します。

詳細については、学校のセーフガーディングポリシーをご覧ください。

## 個人データの保管期間

学校は、正当かつ合法的な理由で必要な期間に限り、個人データを安全に保持します。通常、保護者および生徒のファイルを保持する法的推奨期間は、学校を退校してから最大 7 年間です。ただし、事故報告書およびセーフガーディングファイルは、特定の法的要件に従って、さらに長期間保持する必要があります。

学校のデータ保持ポリシーの適用方法について具体的な質問がある場合、または関連性がなくなったと思われる個人データの削除を希望する場合は、事務長(バーサー) (bursar@rikkyo.co.uk) にお問い合わせください。ただし、学校はその

**立教英国学院は、子どもや若者の生活の質を守り、促進することに尽力しており、すべてのスタッフとボランティアがこのコミットメントを共有することを期待しています。私たちの目標は、すべての生徒がその可能性を最大限に発揮することです。**

ような要求があった場合でも、合法的かつ必要な理由で一部の個人データを保持することがよくありますのでご注意ください。

例えば、アーカイブ目的で限られた合理的な量の情報が保持されます。また、学校があなたから連絡を取らないように要求された場合でも、その事実を記録してあなたの希望を実現するために（「抑制記録」と呼ばれる）記録を保持する必要があります。」

### 学校との連絡を保ち、サポートする

学校および/または関連する他の組織（例：同窓会/後援会）は、保護者、同窓生、および学校コミュニティの他のメンバーの連絡先を使用して、学校の活動や、興味のある同窓生および保護者のイベントについて最新情報を提供します。これには、電子メールや郵便での更新やニュースレターの送信が含まれます。該当する個人が異議を唱えない限り、学校は以下のことも行います：

- 必要に応じて、保護者および/または同窓生に関する個人データを、学校コミュニティとの関係の構築および維持するために設立された組織（日本に拠点を置き、日本のプライバシー規制の対象となる保護者会および同窓会など）と共有します。
- 学校や、必要に応じてその他の価値ある活動の宣伝や資金調達を行うために、上記の組織などを通じて保護者や同窓生に郵便や電子メールで連絡を取ります。
- 学校の資金調達の可能性を最大限に高めるために、公開されている情報源から保護者および同窓生の職業や活動に関する情報を収集します。

これらの使用を制限または異議を唱えたい場合、またはそれらについてさらに情報が必要な場合は、書面で運営部長に連絡してください。あなたは常に同意を撤回する権利があり、あるいはダイレクトマーケティングや募金活動に異議を唱える権利があります。ただし、学校は依然としてあなたの個人情報の一部を保持する可能性が高く（特に、特定の住所、電子メール、または電話番号にこれ以上連絡をとらないため）、その旨を記録する必要があります。

### あなたの権利

あなたには、以下の権利があります。

- 私たちが保有するあなたの個人データへのアクセスおよびそのコピーを取得する権利
- 私たちが保有するあなたの個人データが不正確な場合、それを修正するよう要求する権利
- 特定の状況下で、あなたの個人データを消去するよう要求する権利
- 私たちのデータ処理活動を制限するよう要求する権利（私たちの処理があなたの同意に基づく場合、その同意を撤回することができますが、撤回前の同意に基づく処理の合法性には影響しません）
- 私たちが保有するあなたの個人データを、あなたが指定した合理的な形式で受け取る権利（他のデータ管理者にその個人データを送信する目的で）
- 特定の状況に関連して、あなたの権利に不均衡な影響を与えると感じる私たちの特定の処理活動に異議を唱える権利

上記の権利は絶対的なものではなく、例外が適用される場合には要求を拒否する権利があることにご注意ください。学校は、これらの要求に対してできるだけ早く、合理的に実行可能な範囲で対応するよう努めます。通常、法定の期限内（一般的には1か月ですが、第三者情報を含む複雑な要求や複数の要求を実行するには1〜2か月長くなる場合があります）に対応します。

**立教英国学院は、子どもや若者の生活の質を守り、促進することに尽力しており、すべてのスタッフとボランティアがこのコミットメントを共有することを期待しています。私たちの目標は、すべての生徒がその可能性を最大限に発揮することです。**

## データの正確性とセキュリティ

学校は、個人に関するすべての個人データが可能な限り最新かつ正確であるよう努めます。自分に関する重要な情報（連絡先など）に重大な変更があった場合、事務長(バーサー)に通知する必要があります。

個人は、自分に関する古い、無関係、または不正確な情報を削除または修正するよう要求する権利があります（ただし、データ保護法の下での特定の例外および制限の対象となります）。学校がデータを処理する理由や、異議ある場合の連絡先については、上記を参照してください。

学校は、個人データのセキュリティを確保するために、技術的および組織的な適切な措置を講じます。これには、技術およびデバイスの使用に関するポリシーや、学校システムへのアクセスが含まれます。

## 本ポリシー

学校は、このプライバシーに関する通知を随時更新します。あなたの権利に影響を与える重要な変更があった場合、可能な限り直接通知します。このプライバシーに関する通知は 2024 年 9 月 2 日に最終更新されました。

## 質問と苦情

このプライバシーに関する通知に関するご意見やご質問は、以下の連絡先 [bursar@rikkyo.co.uk](mailto:bursar@rikkyo.co.uk) を使用して、事務長(バーサー)までお送りください。

学校がこのプライバシーに関する通知を遵守していない、またはデータ保護法に従っていないと考える場合は、学校の苦情/不満処理手続きを利用し、事務長(バーサー)にも通知する必要があります。また、情報委員会事務局（ICO）に通報するか、苦情を申し立てることもできますが、ICO は、規制当局を関与させる前に学校と問題を解決するための措置を講じることを推奨しています。

## 改定：

マイナーリビジョン:JCB 17/06/25